

施工取扱説明書

保存用

KOIZUMI コイズミ照明器具

お客様へ

工事店様へ

【安全上のご注意】

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

警告			
この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実にこなしてください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。 器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
禁止	このような場所には取付けしないでください。 この器具は直付・壁付・床置取付可能器具です。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。 工事店・電器店にご相談ください。 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定に従って行ってください。
		分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。

注意			
この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	！ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。		照明器具の耐用年限は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの上への取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。 使用条件と異なる環境で使用すると、合成樹脂材料の変色が促進される場合があります。		照明器具の耐用年限を越えた長期使用や異物混入のまま使用しないでください。 照明器具の耐用年限を越えた長期使用により、合成樹脂材料の変色・黒化に至る場合があります。黒化は、経年劣化(周囲温度、湿度、紫外線、ほこりや虫などの付着部への光の集中等)による変色・黒化です。燃焼現象ではありません。

■ 定格						
型番	器具長さ	質量	定格電圧	入力電流	消費電力	送り容量
AH54673・AH54676	1500	1.1kg	AC100V	0.27A	26.2W	最大 4Aまで
AH54674・AH54677	1200	0.9kg		0.22A	21.4W	
AH54675・AH54678	900	0.7kg		0.17A	16.6W	

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご購入品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にならない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	
製品・お取り扱いなどのご相談は	修理・アフターサービスのお問い合わせは
お客様相談室	サービスセンター
ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-055123	ナビダイヤル (全国共通番号) 電話  0570-015123 FAX  0570-025123
受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	受付時間：9:00～17:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検	★長年ご使用の照明器具の点検を！		
	ご使用の際 このような 症状は ありませんか	●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や痛みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。	ご使用中 止
		故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、必ず販売店に点検、修理を依頼してください。	

安全に関する ご注意	●照明器具及び関連機器には耐用年限があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合) ●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。 ●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
---------------	---

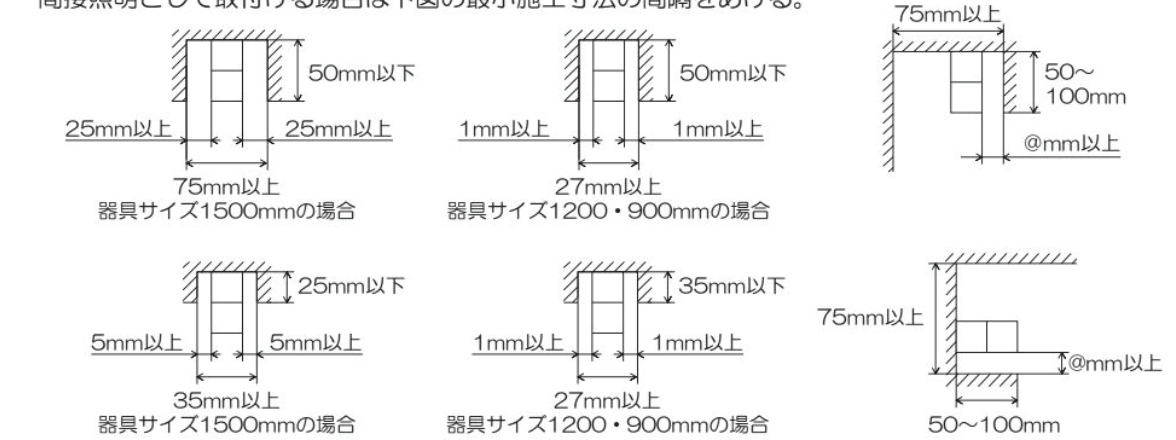
コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
		※This warranty is valid only in Japan.
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お客様様	お名前	
	ご住所	
	電話	()

■もくじ

・安全上のご注意・・・・・・・・表紙	・使用上のご注意・・・・・・・・P7
・定格・・・・・・・・表紙	・LEDユニットについて・・・P7
・施工前の確認・・・・・・・・P2	・器具のお手入れ・・・・・・・・P7
・施工手順＜連結取付の場合＞・・P3～P5	・お問い合わせ先・・・・・・・・裏表紙
・施工手順＜単体取付の場合＞・・P3、P6	・保証書・・・・・・・・裏表紙

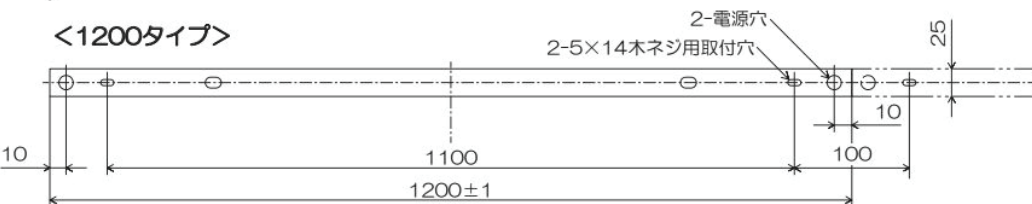
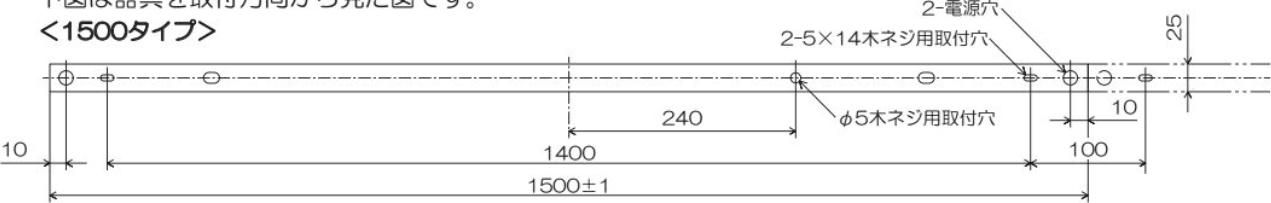
■施工前の確認

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
石膏ボードなどの補強が無い場所に取付けをされた場合、器具の落下や異音の発生の原因になります。
- 2 取付面がクロス貼りの場合
接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。
- 3 設置場所を確認する
間接照明として取付ける場合は下図の最小施工寸法の間隔をあける。



※@が20mm未満の場合、取外しにメンテナンス工具AE92398(別売)が必要です。
※灯具最小施工寸法は、壁紙等の厚みを含めた仕上がり寸法です。

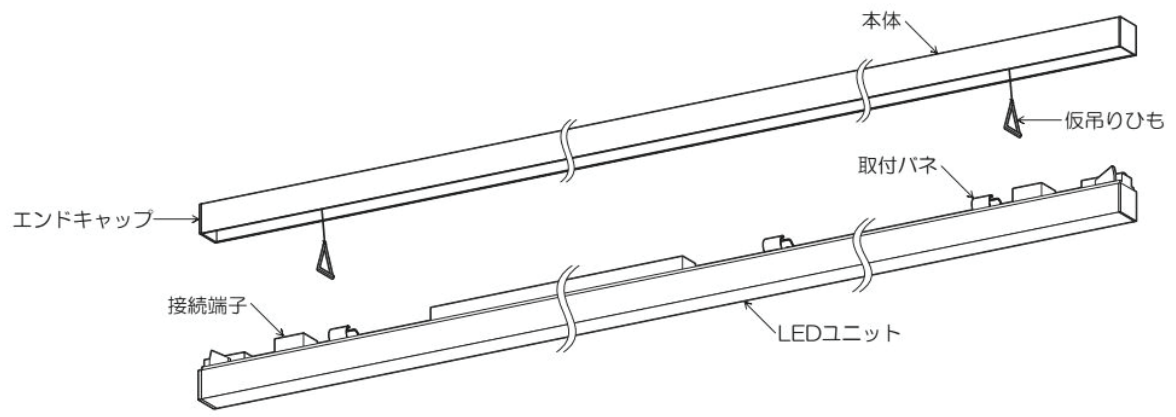
- 4 取付ピッチ
下図は器具を取付方向から見た図です。
＜1500タイプ＞



- ※900タイプは単体、終端用以外では使用できません。
- 5 器具の取付けは2人で作業する (1500タイプのみ)
器具の落下によるけがの原因になります。

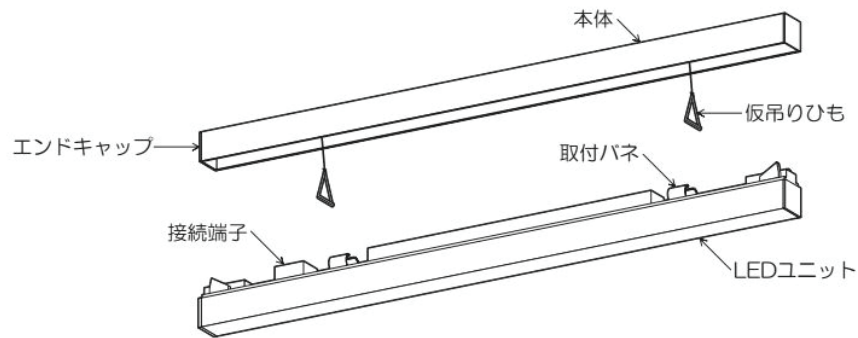
■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。
＜1500・1200タイプ＞



- ＜付属部品＞
- | | | |
|--|--------------|----------------------------|
| | 取付ネジ・・・・・・・・ | 1500タイプ(3本)
1200タイプ(2本) |
| | 本体連結キャップ・・・ | 1個 |
| | 灯具連結キャップ・・・ | 1個 |
| | 連結線・・・・・・・・ | 白・黒各1本 |
- 単体施工および連結施工の終端器具として使う場合、この付属部品は使いません。

＜900タイプ＞

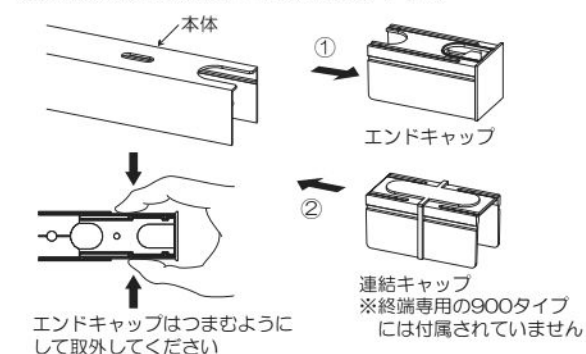


- ＜付属部品＞
- | | | |
|--|--------------|----|
| | 取付ネジ・・・・・・・・ | 2本 |
|--|--------------|----|

<連結取付の場合>

1 本体の連結準備

- ①連結する部分のエンドキャップをすべて取外す
- ②本体の送り側に連結キャップをセットする

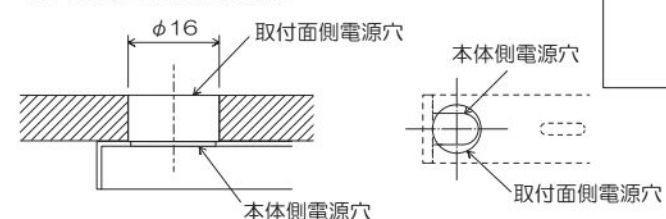


2 電源線の引込み

3 本体の取付

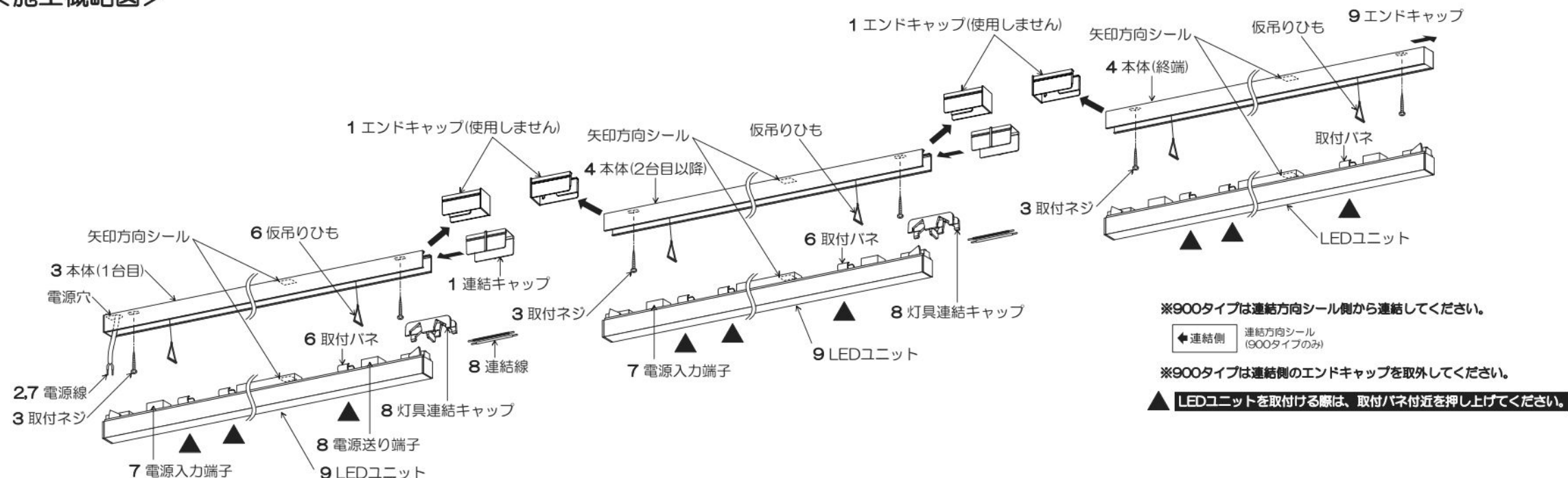
取付ネジで本体を取付ける。

本体を取付ける際の注意点



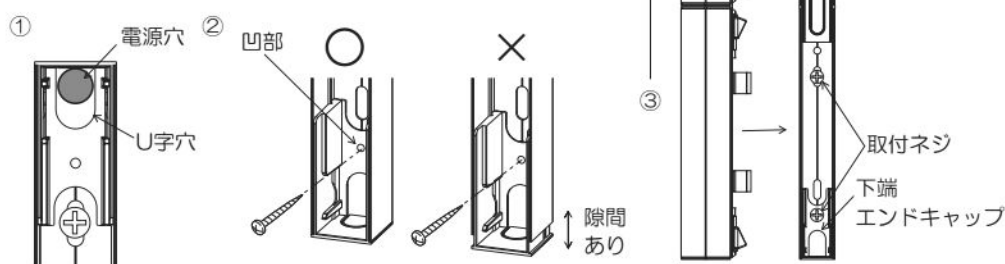
取付面のφ16電源穴と本体の電源穴の中心を合わせてください。電源線をスムーズに取付面内部に戻せなくなり、LEDユニットの浮きまたは、脱落の原因になります。

<施工概略図>

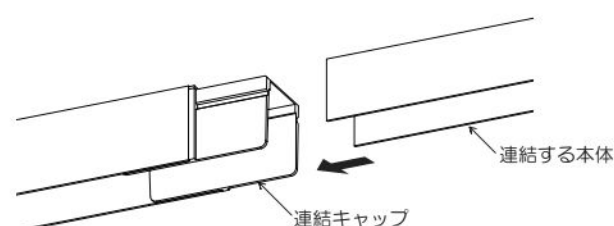


<縦連結する場合> ※連結台数は4台まで

- ①上側から給電する場合は、下図のように電源穴がU字穴上端に接するように取付けてください。
- ②LEDユニットのずれ落ち防止のため、下図のように**下端エンドキャップのみ**本体に隙間なく取付けて凹部からネジ止めしてください。
- ③LEDユニットは**下から上へ順番**に取付けてください。

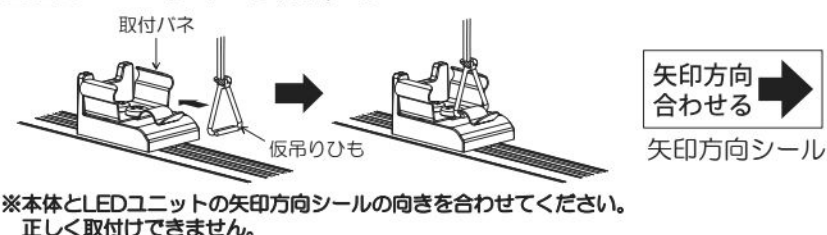


4 本体の連結



5 連結する場合、3・4を繰り返す

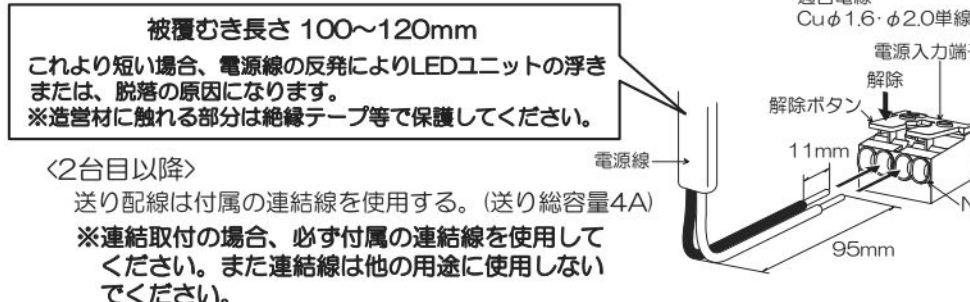
6 LEDユニットの仮吊り



7 電源線の接続

<1台目>

下図のように電源線の被覆を指定の長さでむき、電源入力端子に確実に差し込む。はずす時は、解除ボタンを押しながら電源線を抜く。



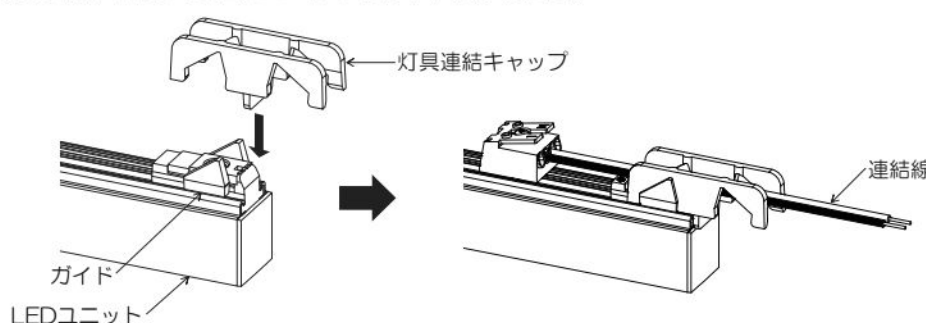
<2台目以降>

送り配線は付属の連結線を使用する。(送り総容量4A)

※連結取付の場合、必ず付属の連結線を使用して
ください。また連結線は他の用途に使用しない
でください。

8 連結部の準備

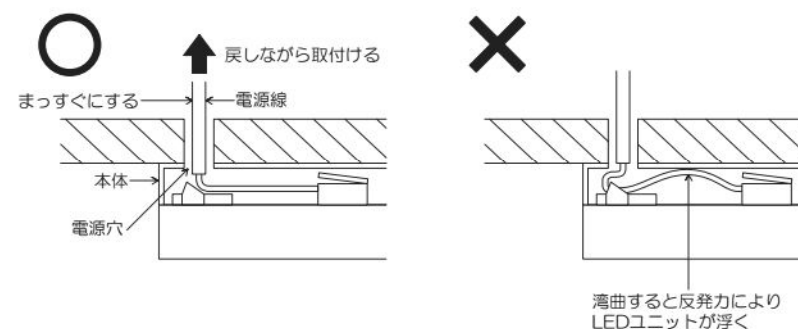
灯具連結キャップをLEDユニットのガイドにはめ込む。



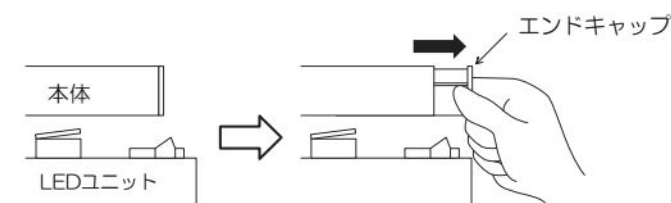
9 LEDユニットの取付

- ①電源線を本体の電源穴にまっすぐ戻しながら、LEDユニットを本体に取付けてください。

LEDユニットを取付ける際は<施工概略図>の▲付近を押し上げてください。電源線が本体内で湾曲すると、反発力によりLEDユニットの浮きまたは、脱落の原因になります。



- ② 終端のLEDユニットを取り付けるときはエンドキャップを手で引き出して本体とLEDユニットの長さを合わせてください。



10 点灯の確認を行う

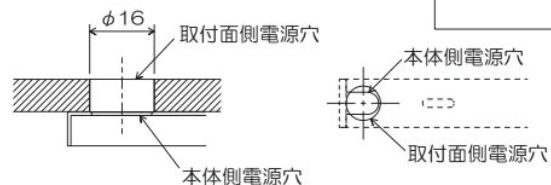
＜単体取付の場合＞

1 電源線の引込み

2 本体の取付

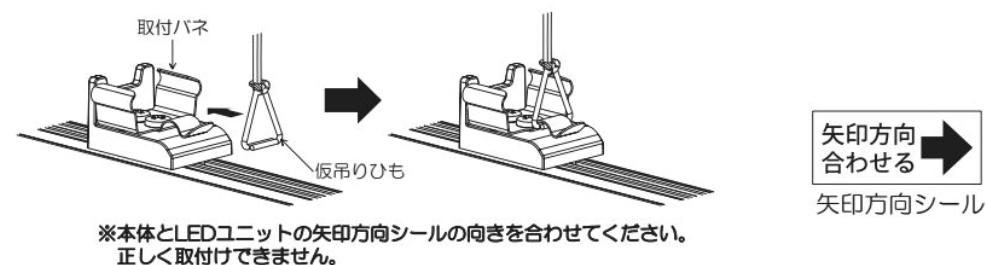
取付ネジで本体を取付ける。

本体を取付ける際の注意点

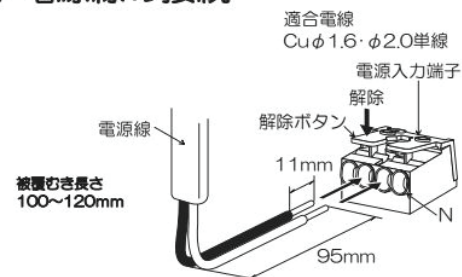


取付面のφ16電源穴と本体の電源穴の中心を合わせてください。
電源線をスムーズに取付面内部に戻せなくなり、LEDユニットの浮きまたは、脱落の原因になります。

3 LEDユニットの仮吊り



4 電源線の接続



左図のように電源線の被覆を指定の長さでむき、電源入力端子に確実に差し込む。
外す時は解除ボタンを押しながら、電源線を抜く。

⚠ **警告** 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合や容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

※電源線被覆部のむきが指定の長さより短い場合、電源線の反発によりLEDユニットが正しく取付けできず浮きまたは、脱落の原因になります。

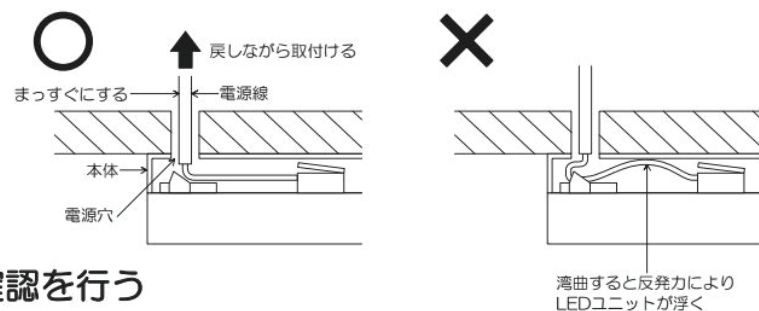
※造営材と触れる部分は絶縁テープ等で保護してください。

5 LEDユニットの取付

電源線を取付面の内部にまっすぐ戻しながら、LEDユニットを本体に取付けてください。

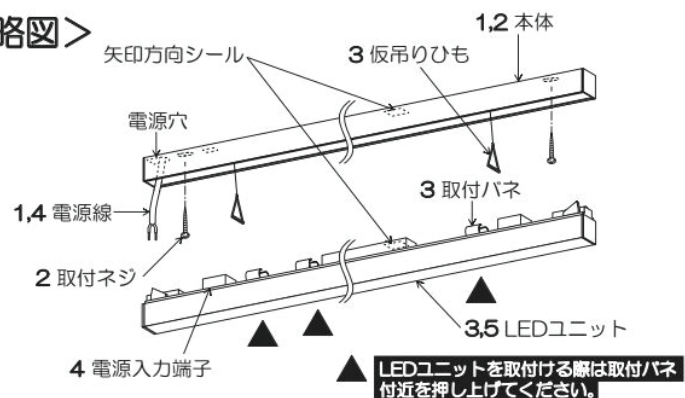
LEDユニットを取付ける際は〈施工概略図〉の▲付近を押し上げてください。

電源線が本体内で湾曲すると、反発力によりLEDユニットの浮きまたは、脱落の原因になります。



6 点灯の確認を行う

＜施工概略図＞



器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 調光器(別売)を使用する時の調光時、および器具取付場所により、器具からのうなりが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- 調光器(別売)と組み合わせて使用する際は、必ず当社指定の調光器(別売)をご使用ください。チラツキ・誤作動の原因になります。

■LEDユニットについて

- 光束維持時間は40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ ⚠ 注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。